

発言者氏名

高橋敏明

発言の会議	平成 18 年 3 月 2 日 本会議
発言の種類	質疑、一般質問、緊急質問、討論、その他
答弁を求める者	市長
件名及び 発言の要旨	<p>1 「2007年問題」について</p> <p>(1) 「2007年問題」に対する市長の認識について</p> <p>(2) 「2007年問題」に対応するための具体的な施策と関連予算について</p> <p>(3) 団塊の世代のニーズ把握のためのアンケート調査等の実施について</p> <p>(4) 退職手当を中心とした財政問題について</p> <p>ア 向こう5年間で支払うべき退職手当の総額見込みと財源確保について</p> <p>イ 団塊の世代に続く次の世代の職員の退職手当の確保について</p> <p>ウ 巨額な退職手当の支払いによる今後の財政への影響と対応策について</p> <p>(5) 人事・組織上の問題について</p> <p>ア これからの職員の人材確保と今後の職員定数に対する考え方について</p> <p>イ 本市職員の団塊の世代退職後の年齢構成と理想的な組織の年齢構成について</p> <p>ウ 定年退職者等の再任用制度導入後の再任用の状況とその成果について</p>

件 名 及 び
発 言 の 要 旨

エ 65歳までの定年の引き上げについて

(6) 住民サービス維持上の問題について

ア 今後の非常勤職員や臨時職員の増加見込み及びそれに伴う市民サービスの低下を招かない質の高いサービス提供への手だてについて

イ アウトソーシングの拡大に伴う受託業者に対する職員の指導力の向上について

ウ 民営化後のサービス水準を保つためのモニタリングの実施について

エ 少数精鋭時代に対応したレベルの高い技術力の維持向上及び市民サービスの観点からの人材育成や現場に反映できる技術の開発について

(7) 再就職支援・技術継承上の問題について

ア 定年退職者の就業支援や技能継承援助などの取り組みの必要性について

イ 経済部に新設される「雇用労働担当課」の業務内容について

(8) 人的資源としての団塊の世代活用のための市の関与について

2 人事制度改革について

(1) 平成18年度から実施する人事評価制度に対する職員の反応及び問題点等試行結果への対処について

(2) 職位の変更に対する職員のコンセンサスについて

(3) 職員の勤労意欲の低下につながりかねない職位の変更について

件名及び
発言の要旨

(4) 「館長」から「課長」への職位移行に伴う今後の行政センターの位置づけについて

(5) 巨大化する組織において十分な機能発揮が懸念される人事評価制度について

3 集中改革プランについて

(1) プラン作成を呼びかけた総務省の通知（技術的助言）に対する見解について

(2) 今後同様の通知があった場合の本市の対応について

4 収入役・副市長に関連して

(1) 収入役の空席について

(2) 収入役が廃止となった場合の会計責任者について

(3) 助役を副市長に改め権限と責任の強化を明確にした地方制度調査会答申に対する市長の感想とそうなった場合の対応について

5 教育委員の選任について

(1) 教育委員会の設置選択制に対する見解について

(2) 教育委員候補者を選任する場合の市長としての基準及び考え方について

6 浦賀火葬場の待合室改修について

(1) 坂本町6丁目町内会との話し合いの状況及び中央斎場への集約統合の今後の見通しについて

(2) 暫定措置としての浦賀火葬場待合室の建てかえについて

件名及び
発言の要旨

7 道路行政について

(1) 道路維持管理費への十分な予算の配当について